

1 研究授業・視点説明

- 児童一人一人が運動・健康に対する課題を発見・改善する手立てや評価の在り方について理解することができた。
- わかりやすい視点説明があったおかげで、2つの授業に参加者全員が共通した視点をもって、参観することができた。

2 授業発表Ⅰ（体づくり運動）

- 活用しやすい場づくりがなされていて参考になった。
- 体づくり運動の授業の在り方、考え方が授業研究・授業参観を通して知ることができた。
- より深い学びにするために、見ている子、動く子で話し合いをする時間が多く取れるとよかった。
- レーダーチャートが視覚化させるツールとしてとてもよいと感じた。
- グループの中で話し合っ、みんなでポイントを意識することができていたので、スムーズに個人の課題解決へ進むことができていた。

3 授業発表Ⅱ（保健）

- 身に付けさせたい力や技能の習得には、学習規律や態度、集団行動にも大きく関わってくると感じた。
- いかに自分ごととして課題をとらえるかについては、道徳の学習と似ている側面が多いと感じた。知識については、普段から分かっていることも多いので、それを崩す若しくは考えが変わることを目指した資料活用があるといいと感じた。
- 児童が自ら「やってみたい」「知りたい」と思う授業だった。
- めあてがはっきりした分かりやすい授業だった。特に行動・環境の要因から地域性や児童自身に落ちていたと思う。
- 地域の警察官の方からのビデオで、より児童の防犯意識が高まっていた。

4 授業研究会

- 動きのまとまりを、まず自分がとらえて実感する。さらに、友達や教師からの評価で確実にするなど、とても深いと分かりました。
- 多くの先生方と様々な視点から協議できて有意義な時間になった。
- 疑問に感じた点をいかにして改善すべきかを話し合ったり、様々な観点からの意見を聞かせていただいたりすることができ、参考になった。
- グループワーク後の後、また全体で協議をしたことがとてもよかった。

5 研究発表（都城地区・派遣研修生）

- それぞれの内容が授業づくりの参考になるように、気軽に見られるようになると大変ありがたい。
- サッカーの抱える課題とその原因について論理的に考察しており、課題ゲームについてこれからのように設定し、実践していくかを考える助けとなった。